

抗菌剤、防虫剤、香料など添加

機能性樹脂の用途拡大

化学メーカー・クラレ（本社東京、本店倉敷市）のグループで生活関連用品を加工販売するクラレリビングは、倉敷市の拠点施設で開発した機能性プラスチック技術の用途拡大を進めている。樹脂に抗菌剤、防虫剤、香料など目的に応じた機能剤を練り込むことができ、これまでに衣類カバー、寝具、清掃道具といった製品に採用。今年は新たに7製品を加え、取引先の要望に合わせた機能を組み込むテーラーメイド型の事業展開も広げていく。（重成啓子）

クラレリビング

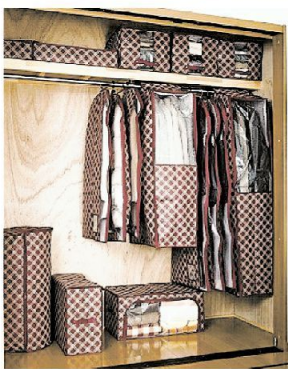
ポリエチレン、ポリプロピレン。つなぎに適したつじみ出るようにしロビレンなどの樹脂に機能物質を見いだしたことであり、樹脂の表面が機能剤を混ぜて溶かし成で、機能剤を30%以上べたつくこともない。形。機能剤の成分がにじの高い比率で含ませら数ほどのペレットにみ出て、抗菌、虫よけ、れるようになった。成形し、用途に合わせて芳香などの効果を発揮す樹脂に機能剤を直接て糸、フィルム、不織ろ。添加する方法の場合、布などに加工する。

機能剤を分離させず、含有率は数%。大幅に研究開発拠点でも樹脂の中に安定してとど高められるため効果がる加工・物流センター（倉敷市中島）で、2005年から事業化に溶化剤」が技術上のポイント液状だが、少しず

着手。国内外で14件の特許を取得（2月末現



クラレリビングが受注生産で拡販を図っている樹脂ペレット



自社ブランドの防虫衣類カバーや防ダニ布団収納袋

新たに7製品 個別注文に応じたも 事業展開

（在）しており、さらに1件を申請中。製品の本格販売は12年秋にスタート。自社ブランド「クラレピュア」とOEM（相手先ブランド生産）で、防虫の衣類カバーや防ダニの布団収納袋など14種類を展開している。

今年には防蚊網戸や芳香剤を入れたカー用品とインテリア用品、革製品のカビを防ぐ収納袋などの市場投入を予定。取引先の注文に応じ、個別の機能剤を組み込むテーラーメイド事業でも現在、数十件の素材開発を進めている。

3年後にペレットの生産量を5倍に増やす計画。鳥生雅夫社長は「生活用品の付加価値向上を模索する中でたどり着いた技術。樹脂と機能剤の組み合わせ次第で無限の可能性があり、活躍の場を広げていくと話している。

同社はクラレの100%子会社。本社は大阪市。1965年設立。

資本金1億180万円。売上高非公表。従業員36人。